

# 学習状況調査を活用した研修会の進め方

佐賀県教育センター

## 1 研修会のねらい

- 児童生徒の誤答を分析し、今後の指導改善の手立てを考える。
- 誤答分析の結果について協議し、学年や学校全体で共通理解を図る。

## 2 研修会前にしておくこと

- ・下記の資料を準備する。

- |                 |                   |           |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ・調査問題           | ・児童生徒の解答用紙        | ・設問別調査結果* |
| ・ワークシート①（誤答分析用） | ・ワークシート②（グループ協議用） |           |

\*設問別調査結果は、SEI-Net の諸調査集計・分析 ⇒ 個票ダウンロードから印刷することができます。  
(令和2年1月31日まで)

- ・研修会のグループを決定する。

※研修会のグループ編成については、別添資料の研修会のグルーピング参考資料をご覧ください。



事前に設問別調査結果等を先生方に配布し、成果や課題を把握してもらったり、誤答分析を行う設問を3問ほど決めてもらったりしておくこと、研修が更に充実します！！  
また、誤答分析を行う学年や教科を絞って研修を行うことも考えられます。

## 3 研修会当日の流れ（60分間で行う場合）

### ① 研修会の目的や流れ、役割分担の説明（5分）

- ・何のためにこの研修会を設定しているのか、全体で共有する。



### ② 誤答分析と今後の手立ての検討（35分）（教科グループで行います。中学校は②と③を学年グループで行うことも考えられます。）

- ・設問別調査結果から3問ほど誤答分析を行う設問を決定する。
- ・誤答の中で多いものを調べ、傾向を把握する。  
※まず、正答、誤答、無解答に分けて、その後に誤答を分類するとスムーズに進みます。
- ・誤答の原因や背景を考える。
- ・指導改善の手立てを考える。
- ・話し合ったことをワークシート①に記入する。



### ③ 誤答分析の結果の共有や今後の手立ての決定（20分）（学年グループで行います。）

- ・誤答傾向の結果や指導改善の手立てを共有する。
- ・今年度中に取り組むべきことや次年度に向けて学年、教科として取り組むべきことを決める。
- ・話し合ったことを、ワークシート②に記入する。



研修会で決定したことは、継続して取り組むことが大切です。定期的に進捗状況を共有したり確認したりする時間を設定して、継続した取組になるようにしましょう！

1 2月調査を3学期、次年度への取組へとつなげていきましょう。

## ワークシート①(誤答分析用)

分析する学年・教科(

年生

)

	設問番号 ( )	設問番号 ( )	設問番号 ( )
主な誤答傾向			
考えられる原因や背景			
指導改善の手立て			

※考えられる原因や背景には、児童生徒の誤答傾向を把握したうえで、どうしてそのような誤答をしてしまったと考えられるのかを話し合ってお記入ください。

## ワークシート②(グループ協議用)

誤答分析の結果と指導改善の手立てを共有しましょう。ほかのグループの報告は、メモに取りましょう。

今後、取り組んでいくことを決定しましょう。

## 研修会のグルーピング参考資料

			誤答分析と今後の手立ての検討			
			国語	社会	算数	理科
誤答分析の結果の共有や今後の手立ての決定	低G	1年				
		2年				
	中G	3年				
		4年				
	高G	5年				
		6年				

### 【グルーピングをする際の注意点】

- ・ 1マスに1名を入れてください。マスが足りない場合は、1マスに2名入っても構いません。
- ・ まずは、教科グループ（表を縦に見たグループ）で誤答分析と今後の手立ての検討を行います。その後、学年またはグループ学年（表を横に見たグループ）で今後の手立ての決定をします。

## 研修会のグルーピング参考資料

		誤答分析と今後の手立ての検討				
		国語	社会	数学	理科	英語
誤答分析の結果の共有や今後の手立ての決定	1年					
	2年					
	3年					

### 【グルーピングをする際の注意点】

- ・ 1マスに1名を入れてください。マスが足りない場合は、1マスに2名入っても構いません。
- ・ まずは、教科グループ（表を縦に見たグループ）で誤答分析と今後の手立ての検討を行います。その後、学年G（表を横に見たグループ）で今後の手立ての決定をします。